



Voyager Focus 2 Office

PC および卓上電話機用 Bluetooth
ヘッドセット システム

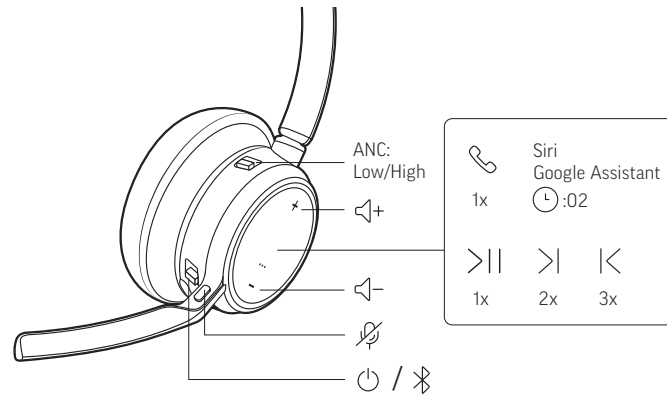
ユーザー ガイド

目次

概要	3
ヘッドセット	3
ベースユニットの概要	4
アクセサリ	4
システムの接続	5
固定電話のセットアップの詳細	5
ベースユニットの位置	7
ペアリング	8
ベースユニットとの再ペアリング	8
モバイルデバイスとのペアリング	8
ペアリングモード	8
快適な使用と充電	9
右または左に着用	9
充電ケーブルの差込口	9
ヘッドセットのバッテリーステータスの確認	9
ソフトウェアをロードする	10
ファームウェアのアップデート	10
基本操作	11
電源のオン/オフ	11
音量を調整する	11
電話の発信/着信応答/通話終了	11
Microsoft Teams の起動 (Teams モデルのみ)	12
センサーの使用方法	12
その他の機能	14
オーディオの再生/一時停止	14
音声アシスト (スマートフォン機能)	14
ANC	14
デフォルト回線の変更	14
オンラインインジケーター	14
有線モード (USB 経由の音声)	14
トラブルシューティング	15
ヘッドセット	15
固定電話	16
スマートフォン	16
パッケージ内容	19
サポート	20

概要

ヘッドセット



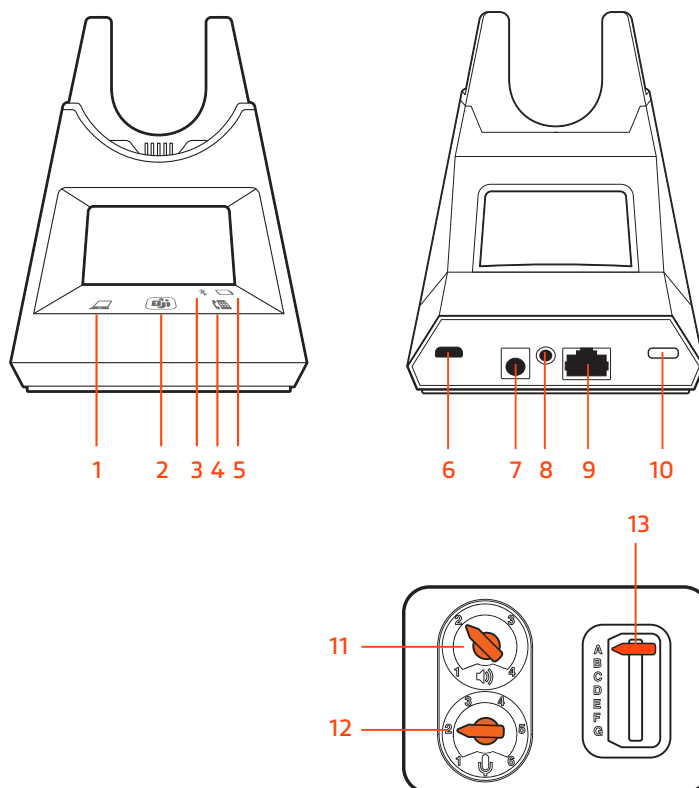
ANC	アクティブノイズキャンセレーション (オフ/低/高)
🔊+	音量を上げる
M	コール ボタン/Microsoft Teams を操作するには押す (Teams モデルのみ、Teams アプリが必要)
Siri/Google アシスタント	デフォルトの音声アシスタント
▶	再生/一時停止**
▶	次の曲にスキップ**
◀	前の曲にスキップ**
🔊-	音量を下げる
M	ミュート/ミュート解除
🔌	電源オン/オフ
📶	Bluetooth デバイスとのペアリング

注 **機能はアプリケーションによって異なります。Web ベースのアプリでは機能しない場合があります。

製品を安全にお使いいただくために

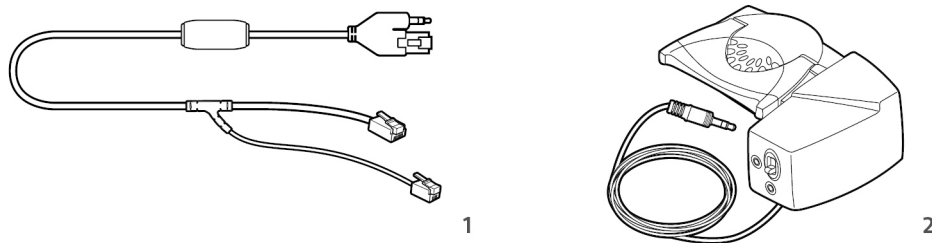
新しいヘッドセットをお使いになる前に、安全性に関するガイドに記載されている使用上の注意事項、充電、電池に関する注意事項、規制情報をご確認ください。

ベースユニットの概要



- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 PC ボタン | 8 ハンドセットリフター用ジャック |
| 2 Microsoft Teams ボタン (Teams モデルのみ) | 9 電話機用インターフェースケーブルジャック |
| 3 Bluetooth LED | 10 Bluetooth ペアリングボタン |
| 4 卓上電話機ボタン | 11 卓上電話機の受話音量 |
| 5 充電 LED | 12 卓上電話機の送話音量 |
| 6 USB ポート | 13 卓上電話機設定スイッチ |
| 7 電源ジャック | |

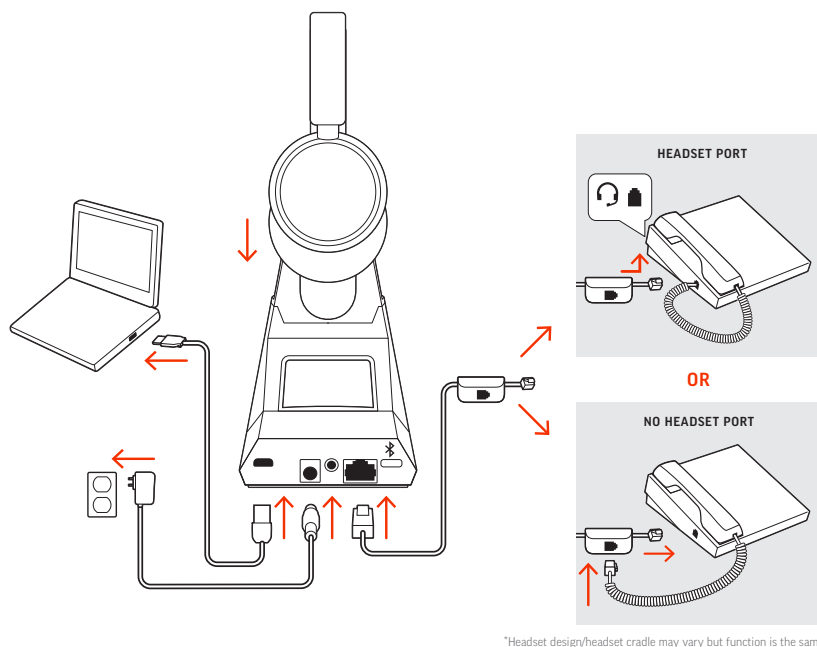
アクセサリ



- 1**電子フックスイッチケーブル (EHS ケーブル) 電子的かつ自動的に、固定電話の着信に応答/通話を終了します。ヘッドセットを使用してリモートコールコントロールが可能になります。
- 2**HL10 リフター ハンドセットを自動的に上げ下げします。ヘッドセットを使用してリモートコールコントロールが可能になります。

システムの接続

図を参考に、ヘッドセットシステムを接続します。



*Headset design/headset cradle may vary but function is the same.

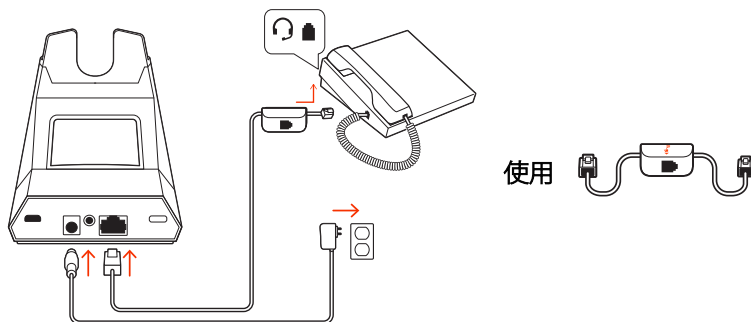
注 ベースユニットの設定のセットアップ

固定電話	設定（ベースユニット底面）
大半の電話機	A
Cisco の電話機	D
EHS ケーブルを使用する Cisco の電話機	A

固定電話のセットアップの詳細

固定電話のセットアップ **A**、**B**、**C**、または **D** を選択し、校正に合わせてケーブルを接続します。

A 固定電話と専用ヘッドセットのポート

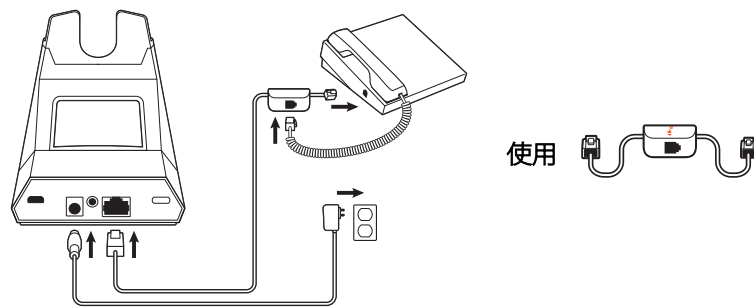


- 電話機用インターフェースケーブルの一方の端を、ベースユニットの背面に接続します。
- 電話機用インターフェースケーブルのもう一方の端を、固定電話のヘッドセット用のポートに接続します。

重要 Cisco の電話機はベースユニットの底面にある設定 **D** を使用します。ほかの大半の電話機は既定の設定 **A** を使用します。

注 HL10 リフターまたは EHS ケーブルを使用していない場合は、このセットアップを使用します。この設定で着信に応答したり通話を終了するには、固定電話のヘッドセットのボタンとヘッドセットのコールコントロールボタンの両方を押します。

B 固定電話（標準）

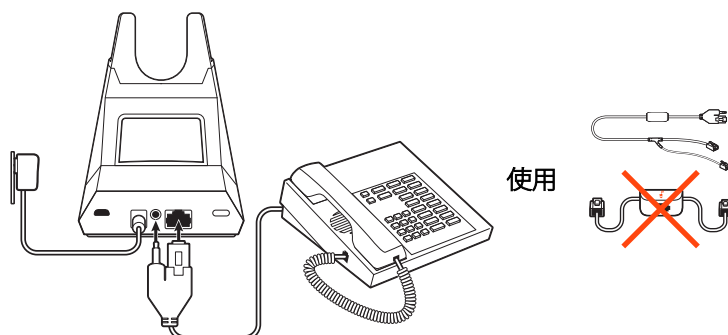


- 電話機用インターフェースケーブルの一方の端を、ベースユニットの背面に接続します。
- 受話器のコールコードを固定電話のベースユニットから抜き、電話機用インターフェースケーブルの配線接続ボックスに再度接続します。
- 最後に、電話機用インターフェースケーブルのもう一方の端を、固定電話の受話器を接続していたポートに接続します。

重要 Cisco の電話機はベースユニットの底面にある設定 **D** を使用します。ほかの大半の電話機は既定の設定 **A** を使用します。

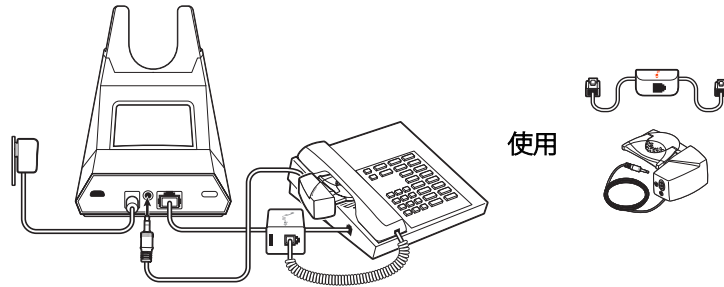
注 HL10 リフターまたは EHS ケーブルを使用しておらず、固定電話に専用のヘッドセットポートがない場合は、このセットアップを使用します。この設定で着信に回答したり通話を終するには、固定電話の受話器を手で取り、ヘッドセットのコールコントロールボタンを押します。

C 固定電話+ EHS ケーブル（別売り）



重要 ベースユニットの底面にある設定 **A** を使用します。設定は Cisco の電話機を含む大半の電話機で正常に動作します。

D 固定電話 + HL10 リフター（別売り）



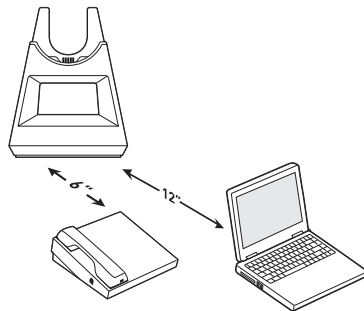
重要 Cisco の電話機はベースユニットの底面にある設定 **D** を使用します。ほかの大半の電話機は既定の設定 **A** を使用します。

ベースユニットの位置

固定電話とベースユニットは、少なくとも **15cm** 離して設置してください。

ベースユニットとコンピュータは、少なくとも **30cm** 離して設置してください。設置位置が正しくないと、ノイズや電波干渉が発生することがあります。

注 ヘッドセットクレードルが異なる場合がありますが、機能の違いはありません。



ペアリング

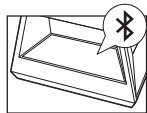
ベースユニットとの再ペアリング

ヘッドセットは、ベースとあらかじめペアリングされています。再ペアリングを行うには：

ベースユニットをペアリングモードにします。ベースユニット背面の Bluetooth ペアリングボタンを 2 秒間押し、ディスプレイパネルの Bluetooth アイコンが青と赤で点滅するまで待ちます。



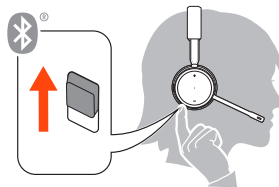
ペアリングが成功すると、"Pairing successful" (ペアリングが成功しました) と "Base connected" (ベースユニットに接続されました) という音声流れ、ディスプレイパネルの Bluetooth アイコンが青く点灯します。



注 ご使用のヘッドセットは最大 8 台までのデバイスとペアリングできますが、同時接続への対応は、ベースユニットを含め 2 台に限られます。

モバイルデバイスとのペアリング

- 1 ヘッドセットをペアリングモードにするには、電源スイッチをオフの位置から反対方向にスライドしたままにして、"Pairing" (ペアリング) という音声流れ、ヘッドセットの LED が赤と青で点滅するまで待ちます。



- 2 携帯電話の Bluetooth を有効にして新しいデバイスの検索を行います。
 - iPhone [設定] > [Bluetooth] > [オン] *
 - Android [設定] > [Bluetooth:オン] > [デバイスの検索] *

注 *メニューはデバイスによって異なる可能性があります。

- 3 [Poly VFOCUS2 Series] を選択します。
必要に応じて、4桁のゼロ (0000) のパスコードを入力するか、接続を確定します。

正常にペアリングされると、「ペアリングが成功しました」というメッセージが流れ、ヘッドセットの LED の点滅が停止します。

注 ご使用のヘッドセットは最大 8 台までのデバイスとペアリングできますが、同時接続への対応は、ベースユニットを含め 2 台に限られます。

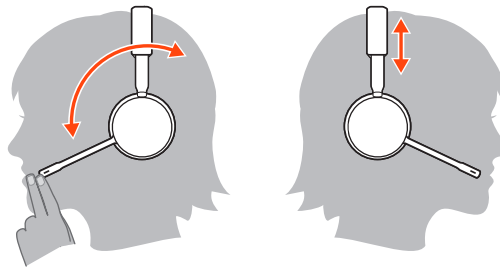
ペアリングモード

ヘッドセットの電源スイッチをオフの位置から反対方向にスライドして抑え、LED が赤と青で点滅するまで待ちます。

快適な使用と充電

右または左に着用

- マイクを右側または左側に配置するには、マイクブームを上回転させます。ブームを曲げ、口の端から指2本程度の位置になるようにします。
注 マイクブームの位置をもう片方の側に変更すると、ヘッドセットによって感知され、各側に特有の音声同期されます。
- 耳が押さえつけられているように感じる場合は、軽く曲げてヘッドバンドを広げます。



充電ケーブルの差込口

ヘッドセットをベースユニットのクレードルに置くか、マイクロUSBケーブルを使用して、ヘッドセットを充電します。充電中は、ヘッドセットのLEDが点滅します。完全に充電するには約2時間かかります。充電が完了すると、LEDがオフになります。
注 マイクロUSBケーブルは、PCまたは充電器のUSBポートに接続します。

ヘッドセットのLED	LEDの意味
オフ	充電終了
●●●	電池残量は充分残っています
●●	電池残量が半分になりました
●	電池残量が少なくなりました
☼	電池残量がほとんど残っていません

ヘッドセットのバッテリーステータスの確認

- ヘッドセット電池残量ステータスの確認:
- ヘッドセットが非アクティブの状態、電源のスイッチをオフの位置から反対方向にスライドして放します。音声通知を聞くか、ヘッドセットのLEDを確認します。

ソフトウェアをロードする

Poly Lens アプリを使用して、高度な設定やオプションでデバイスの動作をカスタマイズできます。一部のソフトフォンでは、デバイスのコールコントロール機能(着信応答/通話終了/ミュート)を有効にするために、Poly ソフトウェアのインストールが必要です。poly.com/lens をダウンロードします。

注 デバイスの設定は、Poly Hub アプリでも可能です。

ファームウェアのアップデート

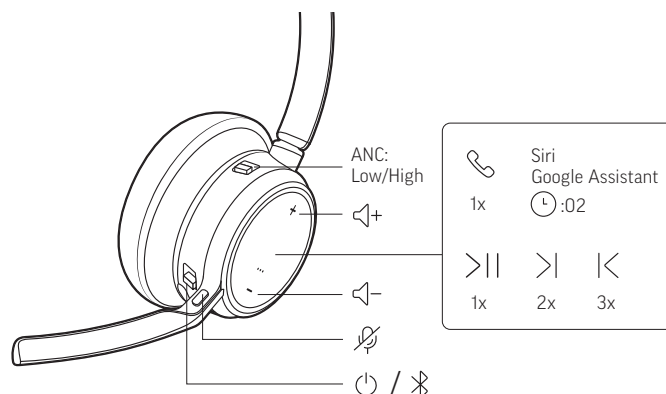
ファームウェアを最新の状態に保つことで、パフォーマンスが向上し、Poly デバイスに新しい機能が追加されます。

Poly Lens アプリ. を使用して、コンピューターでファームウェアを更新します。poly.com/lens でダウンロードしてください。

ファームウェアの更新中、次の点にご注意ください。

- アップデートが完了するまで Poly デバイスを使用しないでください。
- Poly デバイスを、ペアリングされたデバイス(携帯電話、タブレット、コンピューターなど)から切断します。
- 2台目のデバイスで2回目のアップデートを開始しないでください。
- メディアをストリーミングしないでください。
- 通話に応答したり、電話をかけたりしないでください。

基本操作



電源のオン/オフ

スイッチ \odot をスライドさせて、電源のオン/オフを行います。

音量を調整する

- **ヘッドセットの音量:**ヘッドセットの音量を微調整するには、ヘッドセットの音量を上げる (+) および下げる (-) コントロールを調整します。
- **卓上電話機の音量:**卓上電話機で通話中に、自分の声が小さすぎる/大きすぎる場合は、ベースユニットの底の送話音量 \downarrow を調整します。卓上電話機で通話中に、相手の声が大きすぎる/小さすぎる場合は、受話音量 \uparrow を調節します。
- **ベースユニットの着信音の音量:** Poly Lens Desktop アプリで、ベースユニットの着信音量を調整します。この着信音は、ヘッドセットを装着していないときに着信があった場合に鳴ります。

ヘッドセットのマイクの音量調節 (ソフトフォン)

ソフトフォンでテスト発信を行い、ソフトフォンや PC の音量を調節します。

電話の発信/着信応答/ 通話終了

ベースユニットの前面には、コンピュータと固定電話の 2 つのオーディオ \square / \blacksquare ボタンがあります。これらのボタンを使用すると、別の電話回線/音声チャンネルに切り替えることができます。

電話の発信 (コンピュータまたは固定電話)

- 1 ベースユニットディスプレイのオーディオ ボタン \square / \blacksquare をタップします。ダイヤルトーンが聞こえます。
固定電話のみ: HL10 リフターまたは EHS ケーブルがない場合は、電話機のヘッドセット \odot ボタンを押すか受話器を手で取ります。

ヒント ダイヤルトーンが聞こえない場合は、ベースの底面にあるスイッチ (A~G) を調整します。「A」は、ほとんどの固定電話で使用できます。Cisco の電話機の場合は、「D」を使用します。

- 2 ソフトフォンまたは固定電話からダイヤルします。

着信への応答と通話の終了

着信応答/通話終了するには、次のいずれかを行います。

- ヘッドセットのコール \odot ボタンをタップします。
- **コンピュータまたは固定電話:** 対応するオーディオ ボタン \square / \blacksquare をタップします。

固定電話のみ：HL10 リフターまたはEHS ケーブルがない場合、着信に应答するときは電話機のヘッドセットのボタンを押すか受話器を手で取り、通話を終了するときは受話器を置きます。

ミュート

通話中の場合は次のいずれかの操作でヘッドセットがミュートになります。

- ミュート ボタンをタップします。
- マイクブームを回転させ、クリックして上向きにします。
- ヘッドセットを取り外します (アクティブスマート センサーが必要)。ヘッドセットを装着すると、ミュートが解除されます。

通話を保留にする

通話を保留にしたり、保留中の通話を再開するには:

- ヘッドセットのコール ボタンを、2 秒間押します。
- **PC または 卓上電話機**: ベースユニットの対応するオーディオ ボタンを、2 秒間押します。通話が保留になると、ボタンが赤く点滅します。

注 卓上電話機に限り、卓上電話機の通話を 2 件保留できます。

通話を切り替える (フラッシュ)

通話を切り替えるには

- ヘッドセットのコール ボタンを、2 秒間押します。
- **PC または 卓上電話機**: ベースユニットの対応するオーディオボタンをタップします。通話が保留になると、ボタンが赤く点滅します。

注 卓上電話機の 2 件の通話を切り替えられるのは、卓上電話機からに限られます。

Microsoft Teams の起動 (Teams モデルのみ)

ベースユニットとヘッドセットのどちらにも、Microsoft Teams Desktop アプリを素早く開いて使用するための Teams ボタンがあります。会議または通知がある場合、ベースユニットの Teams ボタンが点灯します。

ヒント ヘッドセットのコール ボタンは Microsoft Teams ボタンを兼ねています。

- 通話中ではないときに Teams ボタンをタップすると、PC に Microsoft Teams アプリが表示されます。
- ベースユニットの Teams ボタンの LED が紫に点滅したら、タップして会議に参加します。
- ベースユニットの Teams ボタンの LED が紫に点灯したら、タップして Teams 通知を表示します。

注 Teams モデルおよび Teams デスクトップアプリケーションが必要です。Teams モバイルアプリケーションには対応していません。

センサーの使用法

スマートセンサーは、ヘッドセットの装着または取り外し時に動作します。Poly Lens アプリでカスタマイズします。以下は、デフォルト設定についての説明です。

アクティブセンサーを使用する場合	ヘッドセットを装着すると、次の操作が実行されます。	ヘッドセットを取り外すと、次の操作が実行されます。
携帯電話およびソフトフォン通話	着信応答	ヘッドセットで通話を続行
音楽/メディア	音楽/メディアの再開 (取り外す前に再生している場合)*	音楽/メディアの一時停止 (再生中の場合)*
ミュート (Poly Lens アプリで有効化)	通話中の場合はミュート解除	通話中の場合はミュート

注 *機能はアプリケーションによって異なります。Web ベースのアプリでは機能しない場合があります。

センサーのリセット

センサーが正しく動作しない場合には、センサーをリセットしなければならない場合があります。

ヘッドセットのセンサーをリセットする方法は2つあります。次のいずれかの操作を実行します。

- ヘッドセットの電源を入れた状態で、ヘッドセットを充電台で10秒間充電します。
- ミュートボタンを押したまま、LEDが紫に4回点滅するまで4秒間以上待ち、ヘッドセットの電源を入れます。このとき、イヤークップのパッドに触れないようにするとともに、イヤークップが表面に接触するようにしてください。

センサーの無効化

ヘッドセットのスマートセンサーは、2とおりの方法で無効化することができます。

- センサーの管理はPoly Lensアプリで行います。
- ミュートボタンとコールボタンを押したまま、LEDの点滅が紫から赤になるまで4秒間以上待ちます。再度有効にすると、LEDの点滅が紫から青になります。

注 オーディオのストリーミング中にセンサーを無効にすることはできません。

その他の機能

オーディオの再生/一時停止

コールボタンをタップすると、オーディオのストリーミングが一時停止または再開します。

注 機能はアプリケーションによって異なります。**Web** ベースのアプリでは機能しない場合があります。

曲の選択

次の曲にスキップするにはコールボタンを 2 回タップし、前の曲を再生するにはコールボタンを 3 回タップします。

注 機能はアプリケーションによって異なります。**Web** ベースのアプリでは機能しない場合があります。

早送り/巻き戻し

早送りするには、コールボタンを 2 回タップした後、押し続けます。巻き戻しするには、コールボタンを 3 回タップした後、押し続けます。

注 機能はアプリケーションによって異なります。**Web** ベースのアプリでは機能しない場合があります。

音声アシスト (スマートフォン機能)

Siri、Google アシスタント™、Cortana: コール ボタンを約 2 秒間長押しし、スマートフォンのデフォルトの音声アシスト機能を有効にします。携帯電話からのメッセージが聞こえると、音声ダイヤルや検索、その他のスマートフォンの音声コントロールが有効になります。

注目 音声アシストは、ヘッドセットが通信可能範囲外にあり、スマートフォンとペアリングされている場合にのみ起動します。

ANC

アクティブノイズキャンセル (ANC) により周囲の雑音が軽減され、音楽を聴きやすくなり、音質も向上します。

ANC スイッチをスライドして、以下を選択します。

- 低: オフィスでの使用に最適
- 高: 騒がしい環境での使用に最適

デフォルト回線の変更

デフォルトの発信電話回線/オーディオチャンネルは、**Poly Lens** アプリ で変更します。

オンラインインジケータ

ヘッドセットの LED が赤く点灯している場合、そのユーザーは通話中です。設定は **Poly Lens** アプリ で管理できます。

有線モード (USB 経由の音声)

スマートフォンでの通話時に音声途切れる場合、**Bluetooth** 密度の問題が発生している可能性があります。密度の問題が発生しない有線接続により、オーディオ性能を向上してください。

- 1 **Bluetooth USB** アダプターをコンピューターから取り外します
 - 2 付属の **1.5 m USB** ケーブルを使用してヘッドセットを直接接続します
 - 3 ヘッドセットの電源を切り、密度の問題が発生しない有線モードを使用します
- 注** 有線モード中にヘッドセットのバッテリーが充電されます。

トラブルシューティング

ヘッドセット

ヘッドセットでダイヤルトーンが聞こえない。

- ヘッドセットが充電されていることを確認してください。
- ヘッドセットが、ベースユニットとペアリングされていることを確認してください。「ベースユニットとのペアリングのやり直し」を参照してください。
- ダイヤルトーンが聞こえるようになるまで、ベースユニットの底の設定スイッチ (A~F) を調整してください。ほとんどの電話機は、デフォルトの **A** で動作します。
注目 Cisco の電話機では、設定 **D** を使用してください。EHS ケーブルで接続する Cisco の電話機には、設定 **A** を使用してください。
- 卓上電話機がベースユニットに正しく接続されていることを確認してください。「卓上電話機のセットアップの詳細」を参照してください。
- ベースユニットが卓上電話機の専用ヘッドセットのポートに接続されている場合は、卓上電話機のヘッドセットボタンを押すと、ダイヤルトーンが聞こえるようになります。
- ベースユニットが卓上電話機の専用ヘッドセットのポートに接続されている場合は、卓上電話機のヘッドセットボタンとベースユニットの卓上電話機ボタンを押すと、ダイヤルトーンが聞こえるようになります。
- ベースユニットが受話器ポートに接続されている場合は、受話器を手で取ると、ダイヤルトーンが聞こえるようになります (EHS ケーブルまたは HL10 リフターがない場合)。
- フックスイッチが動作する十分な高さまで、HL10 リフターが受話器を持ち上げていることを確認してください。必要に応じて、設定位置を高くします。
- ヘッドセットの受話音量を、調整してください。「音量を調整する」を参照してください。
- それでも音量が低すぎる場合は、ベースユニットで卓上電話機の受話音量を調整してください。「音量を調整する」を参照してください。

雑音が聞こえる。

- ベースユニットと PC が少なくとも 30cm 離れていることと、ベースユニットと電話機が少なくとも 15 cm 離れていることを確認してください。間隔を調節しても問題が解決しない場合は、ヘッドセットが通話範囲外にあるため、ベースユニットの近くに移動してください。「ベースユニットの位置」を参照してください。

音声にひずみがある。

- ベースユニットで卓上電話機の送話音量や受話音量を下げてください。ほとんどの電話機で、適切な設定は 2 です。「音量を調整する」を参照してください。
- 卓上電話機に音量コントロールがある場合、音声にひずみがなくなるまで音量を下げてください。
- まだひずみがある場合は、ヘッドセットの音量コントロールを調節し、ヘッドセットスピーカーの音量を下げてください。「音量を調整する」を参照してください。
- ベースユニットと PC が 30cm 離れていることと、ベースユニットと電話機が少なくとも 15 cm 離れていることを確認

してください。「ベースユニットの位置」を参照してください。

-
- ヘッドセットでエコーが聞こえる。
- ベースユニットで卓上電話機の送話音量や受話音量を下げてください。ほとんどの電話機で、適切な設定は2です。「音量を調整する」を参照してください。
 - この設定でも音量が小さすぎる場合は、ヘッドセットの音量を上げてください。「音量を調整する」を参照してください。
 - この設定でも、通信相手にとって送話音量が小さすぎる場合は、ヘッドセットの位置を調整し、できるだけ口元に近い位置にマイクがあることを確認します。

-
- 通話の相手側で雑音が聞こえる。
- ベースユニットを電話機から離してください。「ベースユニットの位置」を参照してください。
 - ベースユニットの電源が電源タップに接続されている場合は、コンセントに直接差し込んでください。

-
- ヘッドセットでSiriまたはGoogle Nowを起動できない。
- スマートフォンのデフォルトの音声アシストはモバイル専用機能であり、ヘッドセットをベースユニットの通信可能範囲外で使っている場合は起動しません。
 - ヘッドセットがベースユニットの通信可能範囲内にあることを確認してください。
 - ヘッドセットがお使いのスマートフォンとペアリングされていることを確認してください。
 - 音声アシストを参照してください。

固定電話

-
- ハンドセットリフターを取り付けているが、ハンドセットが上がらない。
- ハンドセットリフターの電源コードがベースユニットのハンドセットリフター用ジャックにしっかり差し込まれていることを確認してください。

スマートフォン

-
- スマートフォンアプリケーションからダイヤルしてもまったく反応がない。
- ヘッドセットが充電されていることを確認してください。
 - ヘッドセットがベースユニットと、ペアリングされていることを確認します。「ベースユニットとのペアリングのやり直し」を参照してください。
 - Poly Lens Desktop アプリがインストールされていることを確認します。poly.com/lens をダウンロードします。
 - Poly Lens Desktop アプリがインストールされておらず、互換性のあるスマートフォンもない場合は、通話の発信/応答/終了を行うときに、最初にベースユニットのオーディオボタンを押して、スマートフォンインターフェースを使用する必要があります。
 - コントロールパネルの [サウンド] (Windows) またはシステム環境設定の [サウンド] (Mac) に移動して、ヘッドセットがデフォルトのサウンドデバイスになっていることを確認します。

- PCを再起動します。

送受信音量が低すぎるか、高すぎる。

- 音量ボタンで、ヘッドセットの受信音量を調整します。
- PCのサウンドのコントロールパネル/システム環境設定で送受信音量を調整します。
- ソフトフォンアプリケーションで送受信音量を調整します。

音声にひずみがある、またはヘッドセットでエコーが聞こえる。

- ソフトフォンアプリケーションを使用して、PCで送信音量または受信音量あるいはその両方を下げてください。
- マイクを顎の方に向けてください。
- それでもひずみが発生する場合は、ヘッドセットの音量を下げてください。

PCのスピーカーから音声が聞こえなくなった。

Windows 10 および Windows 8 システムの場合

- [スタート] > [コントロールパネル] > [サウンドとオーディオ デバイス] > [オーディオ] > [サウンド再生] に移動し、デフォルト設定をヘッドセットからPCのスピーカーに変更します。[OK] をクリックして、変更を確認します。

Windows Vista および Windows 7 システムの場合

- [スタート] > [コントロールパネル] > [サウンド] > [再生] に移動し、デフォルト設定をヘッドセットからPCのスピーカーに変更します。[OK] をクリックして、変更を確認します。

Mac OSX の場合

- アップルメニュー > [システム環境設定] を選択して、[サウンド] をクリックします。
- [出力] をクリックして、[内蔵スピーカー] または目的のスピーカーを選択します。

(Teams モデルのみ) Microsoft Teams と連携する方法を教えてください。

- Microsoft Teams を素早く開いて使用するには、ヘッドセットのコールボタン、またはベースユニットの Teams ボタンをタップします。Microsoft Teams の起動を参照してください。
- Poly Lens Desktop アプリで、対象のソフトフォンを選択します。

(Teams モデルのみ) Microsoft Teams 対応のヘッドセットは、他のソフトフォンでも動作するのでしょうか？

動作します。ヘッドセットが Microsoft Teams 向けに最適化されていても、他のサポートされているソフトフォンで使用できるように設定できます。Poly Lens Desktop アプリに移動し、対象の電話機を設定します。

別のソフトフォンを設定した場合、コールボタンをタップしたときの動作は次のようになります。

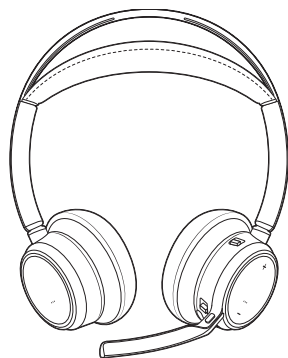
- Teams と接続しなくなる
- Teams 通知に表示されなくなる

- Cortana が起動しなくなる

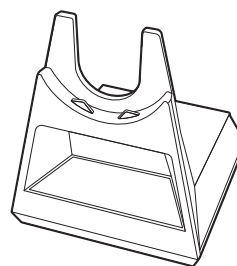
ソフトフォン通話中に音声途切れる。

- Bluetooth の密度の問題が発生している可能性があります。ヘッドセットを PC に直接接続します。「有線モード (USB 経由の音声)」を参照してください。
-

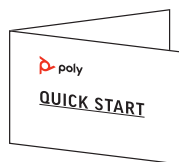
パッケージ内容



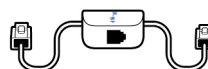
ヘッドセット



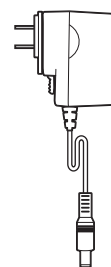
Base



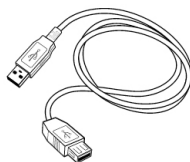
クイックスタートガイド



電話機用インターフェースケーブル



電源



USB 充電ケーブル



キャリングケース

サポート

NEED MORE HELP?

poly.com/support

Manufacturer:

Plantronics, Inc.	Plantronics B.V.
345 Encinal Street	Scorpius 171
Santa Cruz, CA 95060	2132 LR Hoofddorp
United States	Netherlands

© 2021 Plantronics, Inc. All rights reserved. Poly、プロペラのデザイン、および Poly ロゴは、Plantronics, Inc.の商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、Plantronics は同社からライセンスの使用許諾を得て使用しています。その他すべての商標は、該当する所有者により所有されています。Plantronics, Inc.による製造

Model ID: ヘッドセット VFOCUS2/VFOCUS2-M、ベースユニット VFOCUS2 CD/VFOCUS2-M CD。システム: Poly Voyager Focus 2 Office には、VFOCUS2 ヘッドセットと VFOCUS2 CD ベースユニット、または VFOCUS2-M ヘッドセットと VFOCUS2-M CD ベースユニットが同梱されています。

219507-17 06.21